

平成 30 年度第 2 回いしかわ森林環境基金評価委員会の概要

1. 日 時：平成 31 年 1 月 21 日（月）13:30~14:50
2. 場 所：石川県庁 1002 会議室
3. 出席状況：委員 9 名
4. 議 題：(1) 平成 30 年度第 1 回いしかわ森林環境基金評価委員会の概要
及び各委員からのコメントへの対応について
(2) いしかわ森林環境基金事業の取組成果と今後の方向性（中間とりまとめ案）
について

5. 委員会議事要旨（委員の主な意見等）

- (1) 平成 30 年度第 1 回いしかわ森林環境基金評価委員会の概要及び各委員からのコメント
への対応について

意見なし

- (2) いしかわ森林環境基金事業の取組成果と今後の方向性（中間とりまとめ案）について

- ・ 県環境税と国環境税の棲み分けについては理解できた。県産材の利用促進を県環境税で進めることは健全な山づくりを進めるにあたって大変に良いことである。
- ・ 手入れ不足人工林の整備を国環境税に移行することにともない、県産材利用促進対策を追加するとのことであるが、どれくらいの事業規模になるのか。また、対策の中身はどのようなものとなっているのか。
→ 手入れ不足人工林の整備に充当してきた県環境税は約 80 百万円程度である。対策の具体的な内容については、31 年度当初予算の中で検討していくこととしているが、他県では県環境税を活用した住宅や非住宅物件への支援等を行っており、それらの取組を参考としていきたい。
- ・ 森林経営管理法の運用にあたっては、県内の市町での対応は困難であると思われる。また、森林所有者の権利がないがしろにされるほか、大企業への優遇などが懸念されていると聞いており、石川県での運用にあたっては、県民でもある森林所有者が不利益を被らないようにしてもらいたい。
→ 県としても市町への支援を行い、森林所有者が不利益を被らないようにしつつ、森林バンク制度を活用して、しっかりと森林整備を進めていきたい。